

塚原 直貴さん講演会・陸上クリニック 報告書

日 時 令和4年10月2日(日) 9:30~講演会 11:00~陸上クリニック
 会 場 岡谷市東部中学校、岡谷市営陸上競技場
 主 催 岡谷市、岡谷市教育委員会
 共 催 公益財団法人岡谷市スポーツ協会、岡谷市陸上競技協会
 協 力 岡谷市スポーツ推進委員会
 対象者 講演会：諏訪地域在住、在勤、在学の方 陸上クリニック：岡谷市内小中学生
 定 員 講演会：250名 陸上クリニック：50名

開催状況

●講演会の内容(一部)

- ・30cmのバトンをいかに速くゴールへ運ぶかがリレーの醍醐味である。北京五輪日本代表は、アンダーハンドパスを駆使して、次の人へロスなくなめらかな加速をさせるためアンダーを用いた。バトンパスで日本は強豪チームと戦えた。
- ・北京五輪では9万人の観衆の光景のなかで熱気をすごく感じた。この舞台で自信をもって臨まないと地に足がつかない感じがした。
- ・中学の卒業文集に「オリンピックに出る」と書いた。その時に自分の志を立てたのはすごく大きかった。
- ・当時、東中に強い相手がいて自分はずっと2番であった。はじめからエリート街道ではなかった。悔しい思いをしたり一番になりたいという思いがモチベーションを保てた。

●参加者数 講演会 110名 陸上クリニック 50名

参加者内訳

(名)

	0~19歳	20~39歳	40~59歳	60歳~	合計
男性	25	6	12	3	46
女性	25	5	9	3	42
計	50	11	21	6	88

※未提出22名

●アンケート集計結果

➢アンケート回収者数88 回答率80%)

➢イベントの満足度

とても良かった	68名	良かった	10名
普通	1名	あまりよくなかった	0名
よくなかった	0名	未記入	9名

➢イベントの感想(抜粋)

- ・初めて人が話していることに対して夢中になれた。僕も喘息持ちで、喘息だったとしても、体が弱くても、これだけ凄いことができる人がいて驚いた。(中学生男子)
- ・ためになることばかりで、最初から最後まで充実した講演会でした。(中学生女子)
- ・常に目標を持って生活していこうと思いました。また、陸上教室を開催して欲しいです。(小学生女子)
- ・これからの陸上競技人生においてはもちろん、普段の生活にも通じるメンタリティー、必要な要素等、たくさんのことを学べてよかった。(中学生男子)
- ・郷土の生んだオリンピック・メダリストの講演、クリニック大変有意義でした。これからも、こういった機会をたくさん作っていただけるとありがたいです。(40~50代男性)
- ・子供を連れての参加でしたが、スポーツを続けるうえで、自分の心の整理の仕方、どう考えて生活していたか、どう目標をたてたのか、実体験を多く話してくださったので、親が話すより参考になった。(40~50代男性)